

## 新型コロナウイルス感染症に係る私の視点

習志野市議会議員 相原和幸

令和2年5月29日

### 中間活動報告

新型コロナウイルスが、中国武漢市で発生し、日本をはじめ世界で、猛威を振るう感染症となってしまいました。

その後、日本では、安倍晋三首相が2月27日に全国の学校に対する臨時休校の要請が、発表されました。

この時、私は、これは対岸の火事ではなく、もはや私たちの安全安心な暮らしを脅かす事態と認識しました。

そこでまず私は、この感染症に関する情報収集をはじめました。そこで、この新型コロナウイルスに関する処方箋は、存在せず、対処療法ということが、わかったとき「自分の身は、自分で守る」という自助の精神が、求められる災害という認識をしました。

そこで、習志野市議会において、令和二年習志野市議会 定例会の日程について話し合う議会運営委員会では、定例会の日程について通例ではなく緊急事態という認識から、日程の規模縮小または削減を提案したところ、多くの議会運営委員会の市議会議員の賛同を得て、定例会の日程が、規模縮小という形で合意形成し市議会が開催されました。

このような中、世界では、コロナウイルス感染症は、さらに拡大傾向にあり、日本においても感染拡大が続いており学校の卒業式でさえ卒業生と保護者の方のみで行うなど事態は、より深刻な状況になってしまいました。また、保護者の方々から様々なご意見をいただきました。

そこで、このままでは、新学期さえも迎えられないという状況から、私は、4月7日に、習志野市教育委員会 教育長と連絡を取り、様々な意見交換と要望をさせていただきました。また、このころニュースでは、医療崩壊の危険性について多く取り上げられていました。そこで私は、想像力を働かせました。もし、医療崩壊が実際に起きたら、誰が市民の生命を守れるのだろうかということです。それは、まさに地方自治体になるのだろうかということでした。そこ

で、まずは、習志野市議会 事務局長に連絡を取り、庁内の事務スペースにおける感染予防策を提案し、庁内管理体制について報告していただきました。具体的には、コンビニでも実施している飛散防止と事務機の配置（コの字）についての提案です。現在、庁内では透明ビニールが設置され市民の方との感染予防も図られています。

また、医療崩壊は、決して起こしてはならないということから、習志野市の県議会議員である佐藤健二郎氏と密に連絡を取るようになりました。それは、習志野市だけでは取り組めない、言い換えると千葉県として取り組んでいただきたい医療体制の整備についてです。大きな課題は、コロナウイルス感染者の受け入れ態勢について多く話し合いました。その中で、私は、床病数を確保するために、幕張メッセのイベント会場の借り上げなどを提案させていただき、佐藤県議会議員に県へ働き掛けていただきました。その結果、幕張メッセの借り上げが、実現しました。

現在のところ、幕張メッセを使用するほど感染拡大は起きていない状況です。

4月23日 私は、習志野市教育委員会に一本の連絡を入れました。それは、今後の学校教育についてです。この時点では、ゴールデンウィーク明けまでの計画は、示されていたのですが、それ以降については、示されていなかったことから、ゴールデンウィーク前に習志野市教育委員会としてのゴールデンウィーク後のガイドラインを保護者の方々に示していただきたいと要望しました。その結果、週明けに習志野市教育委員会からゴールデンウィーク後の方針について示していただきました。賛否はあるものの、私は、後手後手に回る対応ではない習志野市教育委員会を高く評価しています。

これまでの期間、様々な施策が、国・県・市で打ち出されていたのですが、私は、国の定額給付金に欠落している方々がいることを懸念していました。それは、新生児への対応です。国は令和2年4月27日までに住民基本台帳に記載されている方を対象とする施策です。つまり、新生児4月28日以降に出生する方には、定額給付金の対象としないというものです。これは、市独自で施策を打つべきと考え5月上旬に、会派「元気な習志野をつくる会」から市長への2度目の要望書に「令和2年度の新生児まで給付していただきたい」ということを、盛り込み

提出したところ、5月26日の市長の定例記者会見で本年9月の補正予算に予算措置（1人につき10万円支給）を考えているという意向を表明されたことに大変感謝するところです。

結びに、私は、今回のコロナウイルス感染症についての収束は、全校の児童生徒の通学と考えています。

そのためには、安心・安全な学校教育環境（感染予防の実施）の整備が必要だと感じています。今後も、これまで以上に皆様からのご意見をいただきながら、習志野市の将来のために、習志野市議会議員としてしっかりと活動してまいりたいと思います。

以上